

様式 F-7-1

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成23年度）

1. 機関番号

3	2	6	0	4
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 大妻女子大学
3. 研究種目名 若手研究(B) 4. 補助事業期間 平成23年度～平成25年度
5. 課題番号

2	3	7	0	1	1	0	3
---	---	---	---	---	---	---	---
6. 研究課題 超微粒子DNA複合体による抗腫瘍免疫の惹起とその抗癌効果およびメカニズムの解析

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
4 0 5 9 7 0 9 3	ヨシハラ チエコ 芳原 智恵子	家政学部	助手

8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名

9. 研究実績の概要

学術論文としては、『Oncolytic plasmid:A novel strategy for tumor immuno-gene therapy』というタイトルでJ. Gene medicine に投稿し掲載された(2012; 14: 120–127.)。

また、学会発表は、国際会議で2件(American Society of Gene & Cell Therapy 14th Annual Meeting ; Seattle, Washington, USA, 2011. 5)、国内における学会では9件(第27回日本DDS学会：高分子イオン複合体を用いたサイトカイン徐放デバイスの創製とその抗腫瘍効果、第21回バイオ・高分子シンポジウム：ウイルス抗原遺伝子を用いたガン免疫治療の新しい考えかた、第17回日本遺伝子治療学会年次学術集会：Preparation Of Small Plasmid Complex For Cancer Therapy And Application To Medium Animal Clinical Study 他2件、アンチセンス・遺伝子・デリバリーシンポジウム 2011：微生物抗原遺伝子を用いた腫瘍免疫遺伝子治療システムの開発、第70回日本癌学会学術総会：微生物抗原遺伝子によるがん治療、第33回バイオマテリアル学会大会：微生物抗原遺伝子を用いた新しい癌治療の試み 他1件)で口頭発表を行い、いずれにおいても高い評価が得られた。